

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

1年3組		指導者	〇〇〇〇		教科等	美術科	
題材	題材名	花の命が感じて～生命感から主題を生み出し表現しよう～					
	目標	評価規準	※どちらかを選択し、 で囲ってください。				
	知識及び技能	知識・技能	◆知：形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【〔共通事項〕（１）ア・イ】 技：水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 【「A表現」（２）ア（ア）】				
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	発：花を見つめ感じ取った花や葉の形や色彩の特徴や美しさ、生命感などを基に主題を生み出し、画面全体と花や葉との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【「A表現」（１）ア（ア）】 鑑：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 【「B鑑賞」（１）ア（ア）】				
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	態表：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく花の美しさや生命感などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えたり、見方や感じ方を広げたりする鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
	単元の学習展開（全7時間）						
	導入	□発想や構想（3時間） ・作者の心情や意図に応じた多様な表現について考える。 ・主題を生み出す。 ・主題を基に構想を練る。					
	展開	□制作（3時間） ・水彩絵の具の表し方を身に付ける。 ・発想や構想を基に、自分の意図に合う表現方法を工夫して表す。					
終末	□鑑賞（1時間） ・生徒作品や美術作品から他者の心情や表現の意図と工夫について考え、見方や感じ方を広げる。						

本時 （3／全7時間）	ねらい	線の感じや色の感じ、光の当たり具合、様々な花が持つ造形的な特徴などから感じられる美しさや生命感について、花を置く場所や背景を変えたり、様々な角度や距離から観察したりする活動を通して、画面全体のイメージで捉えることを理解できるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆知・技 ワークシートの内容】）					
	学習過程	「めあて」 「主題を基に花をスケッチし、構想を練ろう」 ※本時は『課題』の設定をしていない 「振り返り」の視点 ・構想を練るときにどんなことを大事にしたか					
	児童生徒に要する状況の立て	【予想されるつまずき】		【必要な支援・手立て】			
		・細部の形に注視しすぎており、消しては描きを繰り返している。		・紙面に花を描いていくときに、花の背景や書き込むものを具体的にイメージさせる。 ・角度や距離、場所を変えて、花が見せる表情の違いを経験させる。			